

皆さんこんにちは！岩国支部の伊坂です。

岩国支部では昨年11月、2016年の熊本地震から10年近くたった今、2度の震度7を受けた被災状況や復興の様子を学ぶための研修に行っていました。

1日目は震災ミュージアム KIOKU を訪ね、防災プログラムに参加いたしました。

今回施設をガイドしていただいた方も当時の震災で被災されており、生の証言や、震災によって破壊された数々の遺物や写真を見学し、当時の被災状況を学びました。



その中でも建築に携わるものとして記憶に深く残ったのはやはり、被災した旧東海大学阿蘇校舎1号館建物でしょうか。

地表に現れた断層とその上にあったため、引き裂かれるように破壊されており、それでもなお建物の倒壊まで至っていなかったことで、断層の変異による建物への影響を直観的に把握することができました。

また私個人としては、崩落した阿蘇大橋も印象に残っております。こちらは偶然ではありますが、地震が起こる前に通行したことがあり、震災当時のテレビ中継などでも報道された際は、大変恐ろしく感じていたことを覚えております。阿蘇大橋についても崩落した橋の一部は峡谷に引っかかる形で残っております。

2日目は熊本城の復興現場を訪ね、防災・減災学習プログラムに参加しました。

震災当時は熊本城の石垣の崩落現場の映像もテレビでよく写されていたため、皆さんの記憶にも残っていると思います。

見学当時は復旧作業が進んでいる場所や、今だ手つかずのまま、順番を待つ場所など様々な状況でした。



熊本城は重要文化財に指定されており、復旧作業についても慎重に行われていると思いますが、それに限らず復旧には多くの時間を要するため、減災の重要性もまた、ひしひしと感じております。

令和8年7月28日16時過ぎ、熊本では再度震度7の地震により被災しております。

ショッピングモールの爆発事故など、建築にも大きく関わる、地震に関連したと思われる災害も発生しております。

山口県は比較的地震の少ない地域と言われてはいますが、県内でも各地に危険な断層は多々あるため、今回の研修を生かし、今後の私たちの仕事に活かしていきたいと思います。

最後までお読みいただきありがとうございます。